学校番号	3001

令和２年度　地歴科

教科	地歴	科目	日本史Ａ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　日本史Ａ　人・くらし・未来」　（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間の流れのなかで、社会の変化の様子をみる。
・歴史的事象について、「なぜ」の視点をもつ。
・歴史を背景とした世界の国ぐにの諸事情をふまえ、現在の日本のあり方を考える。
・授業にあたって、毎回、教科書を準備する。

２　学習の到達目標

・基礎的な歴史用語や知識を身につけ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題について、近現代史を中心とする歴史と結びつけ歴史的観点から考察することができる。
・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、 国際社会のなかで主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする日本史の歴史・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化をふまえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする日本史に関する歴史・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりして効果的に活用している。	近現代史を中心とする日本史についての基本的な事がらを理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業に対する準備・態度 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの時代と歴史	・私たちの時代 ・近現代学習のはじめに	○	○	○	○	a:身近なところから歴史を考えてみるという主題について、意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:近現代学習のはじめとして、そこにいたる歴史的過程について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読みとったり、図表などにまとめたりしている。 d:主題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	授業に対する準備・態度 ワークシート 定期考査
	近現代の日本と世界	・近代への胎動 ・開国と幕末の動乱 ・近代国家の形成 ・国際関係の推移と近代産業の発展	○	○	○	○ ○ ○ ○	a:設定された主題について、意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:日本の近代国家としての形成過程について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:開国から幕末の動乱期について、考察に必要な諸資料の選択、読み取りをしている。 d:主題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	授業に対する準備・態度 ワークシート 定期考査
2学期	両大戦をめぐる国際情勢	・第一次世界大戦と日本 ・第二次世界大戦と日本	○ ○	○	○	○	a:第二次世界大戦の原因と過程、結果について、意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:大正時代の歴史的事象や過程について、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された主題について、考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読みとったり、図表などにまとめたりしている。 d:主題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	授業に対する準備・態度ワークシート 定期考査

3学期	現代の日本と世界	・日本の再出発 ・独立後の政治と経済の発展 ・現代の日本と世界	 ○	○	 ○	○ ○	a:現代の日本と世界の関係について、意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:戦後の日本の形成過程について、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:高度経済成長期について、考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読みとったり、図表などにまとめたりしている。 d: 主題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。